



2020年度 JQE資格制度のご案内

JQE資格検定講習会とJQE資格検定試験

JQE
JLabs Qualified Engineer

JQE資格制度とは



JQE資格制度の目的

本制度は、ケーブルサービスを支える技術についての基本的知識を修得し、新しい事業の構築や現状事業の改善に関して、それぞれの事業環境に適したシステムを設計できる技術者やサービス企画担当者の育成を目的としています。
業界に役立つ人材の育成を目指しています。

JQE資格制度の特色と活用

JQE資格は、ケーブル事業に携わる「中堅クラスの技術者」を対象とし、運用仕様に関わる、設備やシステムに関連する知識を修得していただきます。
現状の事業の改善や新たな事業の展開に向け、各社の事業環境に適したシステムを考えることなど、幅広い知識を持ったサービス企画もできる技術者の養成を目指したもので、JQE資格検定講習会・試験から構成されます。

JQE資格について

◎概要

JQE資格は、日本ケーブルラボによる民間資格です。
JQEは「JLabs Qualified Engineer」を表します。

◎資格取得

JQE資格はJQE資格検定講習会を受講し、JQE資格検定試験に合格することにより付与されます。

◎資格有効期間

JQE資格取得時から3年です。



よくあるご質問

Q1. JQE資格の特徴を教えてください。

A1. 本資格は、設備やシステムの運用仕様や関連する知識を修得し、現在の事業改善や新たな事業の展開に向け、各社の事業環境に適したシステムを考えることや、幅広い知識を持ったサービス企画を策定することができる技術者の養成を目指しています。

本資格を取得されることにより、

◎ケーブルテレビのサービスを提供するための設備やシステム、あるいはそれに関連した技術や運用について十分に理解している。

◎日本ケーブルラボの運用仕様をきちんと理解している。

と認められ、実際に商用で設備導入する際に、その設備がどの仕様に則して作られているかを理解できていることを証明します。

Q2. JQE資格検定試験の合格基準を教えてください。

A2. JQE資格検定試験の受験科目は、4科目です。いずれの正答率も60%以上であることをもって合格とします。
また、科目合格の制度を設けておりますので、不合格の場合、及第点に達しなかった科目については、次回以降に実施される試験を再受験する資格があります。
※2020年度より、JQE資格検定講習会を受講され、試験を受けられるかたの詳細は、HPをご覧ください。HPをご覧ください。

Q3. JQE資格取得者の特典を教えてください。

A3. **特典1. 倶楽部JQE(SNS)に加入できます。**
倶楽部JQEは、JQE資格取得者に限定されたコミュニケーション広場です。日本ケーブルラボからの情報発信のみならず、皆さんの技術情報にかかわるお悩み、情報交換の場としてご利用いただけます。

特典2. 日本ケーブルラボ主催の有料イベントに無料で参加できます。

例) ラボオータムセミナー内、参加費有料の国際セミナーに無料で参加することができます。

※日本ケーブルラボ主催イベントとは、ワークショップ・技術セミナー・オータムセミナー・ハンズオン等。

※各イベント、定員人数の関係がありますので、事前に参加お申込みをお願いします。

JQE資格検定講習会 概要

名称	JQE資格検定講習会
開催スケジュール	2020年度 年4回 オンラインにて実施 ◎第1回：6月16日(火)-17日(水) ◎第3回：9月23日(水)-24日(木) ◎第2回：7月7日(火)-8日(水) ◎第4回：10月6日(火)-7日(水)
受講対象	ケーブルテレビ事業者をはじめとするケーブル事業関係者
受講料	1名1会場(2日間) ラボ会員：25,000円(税抜) ラボ会員外：50,000円(税抜) ※受講料にはテキスト代も含まれます

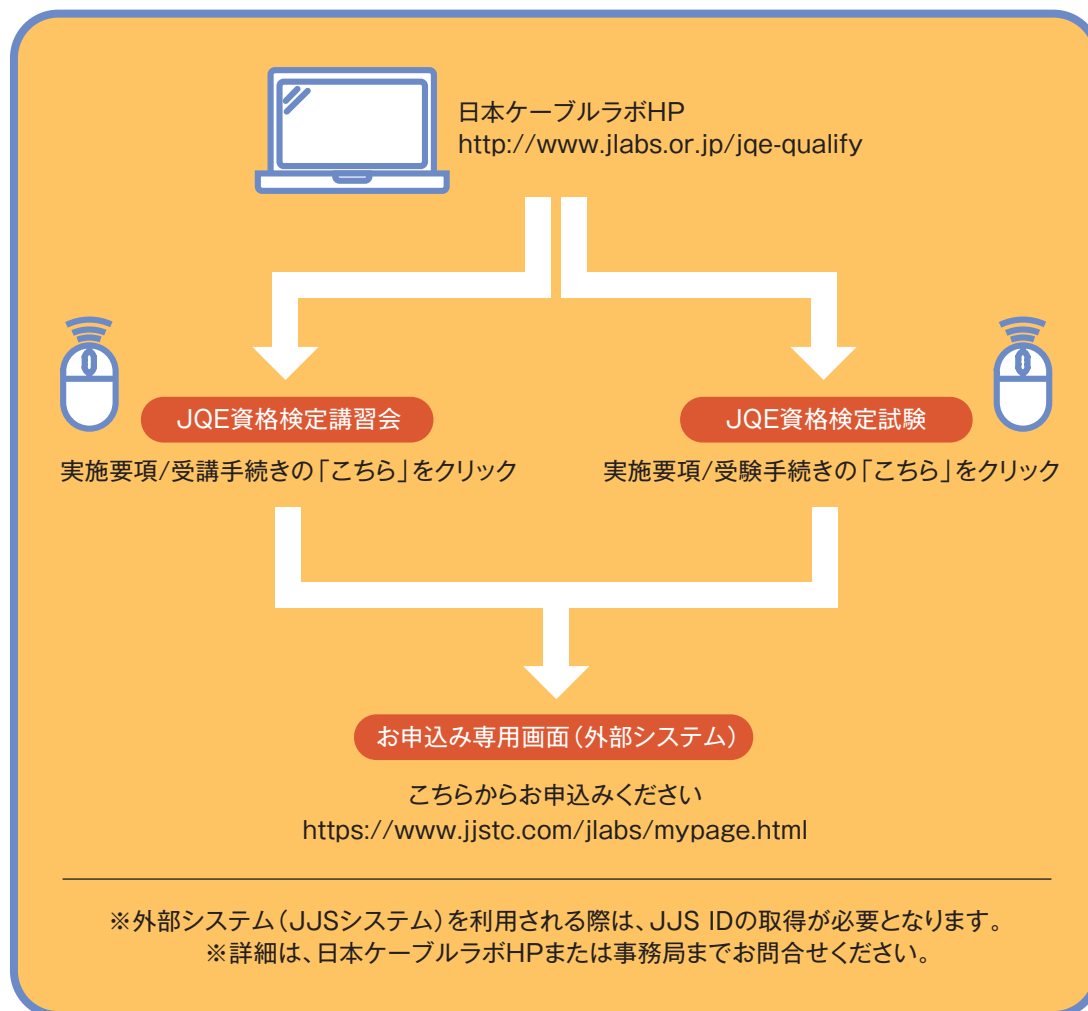
カリキュラム

1日目	第1章	デジタル放送伝送技術の基礎	信号の情報源符号化から、時分割多重、スクランブル、伝送路符号化、受信側復号処理に至るデジタル放送・伝送の基本プロセスと、そこに使われるH.265等画像コーデックやPSK、QAM、OFDM等変調などの技術の基礎を学習。
	第2章	ケーブル伝送技術と日本ケーブルラボ運用仕様	ケーブルネットワークで使われる伝送方式、トランスモジュレーション、パススルー、MPEG-2TS多重化、放送におけるIP関連技術、ならびにSTBを起点としネットワークによるセカンドスクリーン視聴を実現するケーブルDLNA等について、ケーブル業界の標準仕様とともに学習。
	第3章	DOCSISの基礎	HFCで高速データサービスを可能にしたDOCSIS、そのコンセプトほか全体像を掴み、主にDOCSIS3.0における物理層・上位層の高速化技術と、下りスループットが最大10ギガのDOCSIS3.1の概要と導入の条件について学習、進化を続けるDOCSISの最新動向についても簡単に扱う。
	第4章	光伝送技術と無線伝送技術	光伝送技術は、光伝送の仕組みからE-PON・G-PON規格、PON相互接続、FTTHへの段階的移行、集合住宅の高速化について、無線伝送技術はケーブル事業用無線周波数、Wi-Fiの進化と多様化するサービス、地域BWA、MVNO、IoT用の近距離無線技術、5G等の概要について学習。
2日目	第5章	サービス基盤技術とIP関連技術	これからのケーブルサービスに必要なケーブルプラットフォーム、そのコアとなる認証・認可機能の仕組みやプロトコル、共通ID連携、その他レコメンドサービス等AI+ビッグデータ、IoT、またケーブルネットワークを仮想化し省力・省資源を図る技術、SDN/NFVについて学習。
	第6章	コンテンツ配信技術とコンテンツ保護技術	IP技術とともに進化するコンテンツ配信技術およびコンテンツ保護技術について、配信はIPマルチキャストやABRストリーミング技術、配信を支えるネットワーク品質測定などを、また、コンテンツ保護はDRMの機能、仕組み、CENC、DRMライセンサーによる違い、構築時の注意事項などを学習。
	第7章	放送の高度化(4K・8K対応)	4K・8K映像フォーマット、HDRの高輝度化技術と規格化動向、MMT等の多重化方式、次世代CAS(ACAS)、衛星放送およびケーブルでの放送・再放送のための高度な伝送技術(256QAM、複数搬送波伝送方式)、高度な音響方式などを学習。
	第8章	端末技術	ハイブリッドBOXや第3世代STBに込められたケーブル端末技術を、ソフトウェア・ハードウェアのオープンアーキテクチャー、ハイブリッドキャスト、4K対応、リモート視聴、個人番号カード読み込み機能を中心に学習、また、スティック型STBや未来端末についての概要を学習。

JQE資格検定試験 概要

名称	JQE資格検定試験(前期・後期)
受験資格	JQE資格検定講習会履修者
試験内容	JQE資格検定講習会のテキストから出題
試験日	前期試験：2020年8月18日(火)・8月19日(水) 後期試験：2020年12月8日(火)・12月9日(水)
試験会場	提携している全国のコンピュータースクールにてCBT試験での受験可能 受験時間は、予約時にご自身で選択 ※必ず専用の申込みシステムからお申込みください
試験時間	全4科目(1科目40分×4)
試験科目	科目Ⅰ：放送伝送技術の基礎(テキスト：第1章・第2章) 科目Ⅱ：ケーブル伝送技術の高度化(テキスト：第3章・第4章) 科目Ⅲ：ケーブルプラットフォーム技術(テキスト：第5章・第6章) 科目Ⅳ：放送の高度化と端末技術(テキスト：第7章・第8章)
受験料	4科目：6,000円(税抜) 1科目：1,500円(税抜)

申込方法



JQE資格は、経営力向上推進機関の認定を受けています。

日本ケーブルラボは、中小企業等経営強化法に基づく「有線テレビジョン放送業における経営力向上推進機関」として、
総務大臣の認定を受けています。(2017年12月19日付)

JQE資格検定講習会の受講費用に対する人材開発支援助成金受給申請ができます。

※詳細は、各社にてご確認ください。

お問合せ

一般社団法人日本ケーブルラボ JQE資格制度 事務局

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-4-2 KDX茅場町ビル3F

TEL : 03-5614-6100 / FAX : 03-5614-6101

E-mail : jqe_shikaku@jlabs.or.jp

URL : <http://www.jlabs.or.jp/jqe-qualify>